

# 陳 述 書

1 私、上田恵弘は沖電気工業株式会社を相手にした提訴を起こしているものですが、この提訴に当たり、2002年及び2003年の株主総会に出席していたときのことを詳細にここで陳述いたします。

## 2 2002年6月27日 第78回株主総会での状況

午前10時開会少し前に受付をすませて会議場へ入り、議長席に向かって左側、だいたい中程に着席しました。議長は代表取締役社長篠塚勝正氏が務めました。質問したい人は席順で許可されました。

田中哲朗氏が私より先に質問に立ち、いくつか質疑した後、「株主総会の開催日を他の会社と同じ日にしないで別の日にしてほしい、これをここで採決して下さい」と提案しましたが、議長は「その必要なし」とこれを拒否しました。田中さんがなおも要求し続けましたところ、議長は「退場」と警備員に命じ強制排除をさせました。

私の発言が許可されたときいくつか質問の後、最後に「先ほど強制排除された田中氏は病院に通っている身である。診断書を見せているのを無視して暴力的に排除したのは不当である。会社は株主の意見に対し誠意を持って真剣に考慮を払い正すべきはただすことが肝要であると思うがどうか」と社長の誠意ある回答を求めたのですが、「目的事項ではない」と回答を拒否されました。なおも要求し続けたところマイクの声が切られ、即ち強制的に発言を中止され、ついで「退場」という議長の発言を受け先ほど田中さんを連行していった屈強な警備員がやってきて私の体に手をかけ、複数人で「暴力はやめろ」という私の声を無視して会議場の外へまるで虫けらのごとく私は押しだされました。廊下のようになっている所へ出たらなお強く警備員らは私の体を締め付けるようにしました。これら一連の暴力行為は私の人権を著しく奪うもので決して許すことができません。

玄関のちかくのロビー状になっているところまで連行されましたが、そこに田中さんと内田さんがいました。少しして田中さんが「上田さん、上着が破られてるよ」と教えてくれました。そこで初めて上着の裏地が破損されていることに気づきました。

田中さんが持っていたカメラで上着を写真に撮ろうとしたとき会社警備員氏が「ここで止めて」というので入り口近くにおいて撮りました。これが甲1号証です。

(別紙の図面参照)

## 3 2003年6月27日 第79回株主総会での状況

私としては3回目の株主総会です。座席はほぼ真ん中辺です。今回議長(社長)は去年と違って強制退場を全く発令しませんでした。

発言順が来たとき私はCSR(企業の社会的責任)について質問しました。ある研究所の調査によればアンケート有効回答企業の50%がCSR即ち環境、社会問題への企業の社会に対する責任に関連するリスクの把握ならびに管理が取締役会の役割として明確化されている、とのことですが、沖電気は社長の回答で判断する限りではこのことにあまり取り組んでいないような印象を受けました。

発言の最後に私は「去年2002年の株主総会で強制排除されたが、その際、私の上着が1部破損された。このことをどう思うか」と質したのに対し議長は「目的外事項への発言だったので中止を求めた上、退場してもらったにすぎない」と全く無責任極まる回答でした。この回答を受けて私は初めて提訴しかないのかと考え出した次第です。

4 上記2の2002年の株主総会の議場および強制連行された経路、ロビー、そして甲1号証の写真撮影場所等を記憶に基づいて別紙に手書きで示しますが、会社には見取り図があると思いますのでそれを頂いた上でより正確に特定したいと思います。

以上の通り陳述いたします。

平成16年 1月24日

住 所 東京都八王子市狭間町1960

氏 名 上 田 恵 弘

別 紙

甲第 1 号証の写真撮影場所